

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

N0	区分	質問	回答
1	A-058-8	スライディングウォール図にレールカバーがありますが、仕様・厚さ・大きさ・詳細を御指示下さい。	レールカバーALPLt3UUとします。A-089-3を参照ください。
2	A-019-15	1F県民ギャラリーC1・C2のX6・Y1B通りに鉄骨柱SC2Aがありますが、耐火塗装で巾木無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
3	A-008-3・018-1	仕上表で1F県民ギャラリーC1・C2の鉄骨梁型が耐火塗装となっていますが、矩計図では見え隠れになるのでワックル吹付のようになっています。矩計図を正と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
4	A-015-7・019-15	1F県民ギャラリーC1・C2の下り天井H550は石膏ボード t=12.5+12.5+AEP塗装+塩ビ製見切縁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
5	A-019-15	1F県民ギャラリートレーディングオフィス間の建具FSD下にグレーリングとありますが、ステンレス製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
6	A-019-15	平面詳細図で1F県民ギャラリーC1のX5・Y1B通りの柱型耐火間仕切が強化石膏ボード t=12.5+12.5となっていますが片面耐火間仕切なので、強化石膏ボード t=21+21に置き換えるも宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
7	A-017-28・019-13	1Fコレクション展示室①でX7・Y5通りの柱型が南北面吹付t6となっていますが、展開図では多機能ケイカル板t=9.5+AEP塗装と食い違っています。X8・Y5通りも合わせて南北面吹付t6、東西面はアセチル複合板t3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
8	A-019-13	1Fコレクション展示室①のX7・Y5、X8・Y5通り柱型のコーナー見切は、アルミ製 L-30*30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SUS L-30*30 小口処理（アルミカール処理）で小口処理可能コーナー見切り無しにする。
9	A-008-6・018-2・017-56・019-23	2Fコレクション展示室①の壁仕上げで、矩計図はAEP+ペンキ下地ケイカル板t=9.5、仕上表、展開図・平面詳細図・標準詳細図はAEP+多機能ケイカル板t=9.5と食い違っています。2Fコレクション展示室①X6～X7・Y5通り壁、1Fコレクション展示室①吹抜下地のみAEP+ペンキ下地ケイカル板t=9.5と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	AEP+多機能ケイカル板t=9.5としてください。

No	区分	質問	回答
10	A-016-24・019-23	平面詳細図で2Fコレクション展示室① 建具FSD226下に床見切susFBt3 UUとありますが、建具表では省略 SUS FB5.0 HLと食い違っています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	床見切susFBt3 UUとしてください。
11	A-021-8	2Fコレクション展示室①他のARスリット見切はカルン焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
12	A-015-10・017-56	天井伏図・展開図で2Fコレクション展示室①のX7A～X8・Y6A通りに下り壁がありますが、LGSW=100+両面石膏ボート t=12.5+12.5+AEP塗装、下端見切 スチール t=3.2 UUと考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
13	A-018-2・019-23	矩計図で2Fコレクション展示室①のY7通りの耐火間仕切が1000PA対応になつていませんがX5～X6通り・X7～X7A通りにコレクション展示室①に面していますので、X5～X8・Y7通りの耐火間仕切は1000PA対応と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
14	A-015-9・017-56・018-2	天井伏図で2Fコレクション展示室① 展示ケース裏スペースが天井高CH=4000とありますが、矩計図・展開図では直天と食い違っています。直天を正と考え、Y7通り建具FSD225・FSD227前のみに天井 LGS(1000PA対応)+石膏ボート t=12.5+12.5+AEPが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
15	A-017-56・018-2・019-23	2Fコレクション展示室① 展示ケース裏スペースのY7通りの壁仕上げが矩計図・平面詳細図は石膏ボート t=12.5+AEP塗装、展開図では石膏ボート t=12.5+多機能ケイカル板 t=9.5+AEP塗装と食い違っています。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	石膏ボート t=12.5+多機能ケイカル板 t=9.5+AEP塗装としてください。
16	A-020-1～3	コレクション展示室①階段の踏面・蹴場はモルタル+溶接金網 φ3.2*50*50+フローリング A溝2本加工付、蹴込・段裏・手すりはSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	踏面・蹴込について、モルタルでは乾式下地とし同材としてください。 フローリング A t 15 クッションシート t 1 合板 t 12 調整代 t 2 総厚 t 30程度 ウレタン塗装としてください。
17	A-020-1～3-052-1	コレクション展示室①階段・吹抜のガラス手摺は、ティアタイトガラス手摺に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
18	A-020-3	コレクション展示室①階段等ガラス手摺に補助手摺がありますが、仕様・大きさ・取まりを御指示下さい。	別紙（手すりガラス図面）を参照ください。
19	A-052-1	ガラス手摺でMPG金物・ガラス受け金物は、カルン焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SUS 2B仕上げとします。

No	区分	質問	回答
20	A-008-7・ 015-10・ 017-58・ 019-26・ 089-3	2Fコレクション展示室②の天井高が仕上表・平面詳細図・展開図ではCH=7520、天井伏図・部分詳細図ではCH=6000と食い違っています。CH=7520は直天となりますので、CH=6000を正と考えて宜しいでしょうか。直天が正の場合梁型は耐火塗料と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	直天井とする、梁は耐火塗装とする。
21	A-017-58・ 019-24	2Fコレクション展示室②のX9、X10通りにH=4000の腰壁がありますが、天端笠木はスチールレング焼付塗装PL-3.2 521*25が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
22	A-089-3	部分詳細図で光天井で鋼製下地の鉄骨が見えてきますが、SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。また、吊材は銷止め塗装のままで考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	ウレタン塗装とする、吊り材についても塗装を見込んでください。
23	A-008-7	仕上表で2Fコレクション展示室②・小展示室A・Bの壁仕上げに(全バテの上AEP)とありますが、範囲が不明です。コレクション展示室②に必要で、小展示室A・Bには不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コレクション展示室②・小展示室A・Bすべて、全バテの上AEPとしてください。
24	A-019-26・ A-060-9	平面詳細図で2F小展示室B・コレクション展示室③の展示ケース裏壁仕上げがAEP+多機能ケイカル板t=9.5+石膏ボード"ととなっていますが、特別詳細図では仕上げがありません。仕上げは不要でLGS現しと考えて宜しいでしょうか。仕上げが必要な場合、AEPも併せてスラブ下まで必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	展示ケース裏についても、多機能ケイカル板t=9.5+石膏ボード"仕上げを見込んでください。露出箇所以外はAEPは不要です。
25	A-015-10・ 017-57・ 060-9	2F小展示室Bに展開図・特別詳細図に天井ルーバーの記載がありますが、天井伏図には天井ルーバーがありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ルーバー不要です。フラット天井とします。
26	A-019-26・ 27	平面詳細図で2Fコレクション展示室③のY4通り、Y6A通り壁仕上げに空気層50とありますが、鋼製下地キャンセル50と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
27	A-018-6	矩計図で2Fコレクション展示室③の梁型の耐火被覆がロックル吹付のような記載になっていますが、見掛けなので耐火塗料に置き換えるても宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
28	A-008-7・ 017-60	仕上表で2Fコレクション展示室③の市木がアルミアングルH=10とRA部スリットH=50とあります、展開図ではRA部スリットH=50しかありません。アルミアングルH=10は無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、施工場所を御指示下さい。	A,B,C面 倉庫・階段に面する部分についてはアルミアングルH=10とします（展示ケース部分は不要）D面についてRAスリットH50とします。
29	A-015-10	天井伏図で2Fコレクション展示室③にBピッチチャーレルの記載がありますが、色が付いていませんで施工範囲が不明です。X11B・Y4～6A通りに必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

No	区分	質問	回答
30	A-021-1	床の嵩上げコンクリートに溶接金網φ6-100*100を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。御指示下さい。	宜しいです。
31	A-021-4	間仕切のグラスカルの密度は24kg/m3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
32	A-019-18	1F多目的ルームの鉄骨柱の仕上は耐火被覆の上フアリック貼と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
33	A-008-2・ 07-031・ 054-2	1F多目的ルームのプライドボックスについて、仕上表のボックス欄では手動RSB、家具・備品工事欄では手動RSB、備考欄では遮光カーテンなっています。カーテンボックスを正としカーテンルール(シングル)も見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 またボックスの仕様は展示ロビーのボックスに倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
34	A-008-2	1F多目的ルームの遮光カーテン吸音機能は本工事に含むと考えて宜しいでしょうか。参考マーク・品番と併せて御指示下さい。	備品対応（別途）とします。
35	A-008-2	1F多目的ルームに遮光カーテン（備考欄）と手動RSB（別途工事）がありますが、遮光カーテンを設置する場所を御指示下さい。	多目的ルームSW面とする。
36	A-019-18	1F収納①の壁ロックルールは半湿式と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
37	A-019-18	1F収納①②の鉄骨柱の仕上は耐火塗料表しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ロックウールとします。
38	A-008-2・ 019-11	1F収納③の仕上表壁欄にGW充填とありますが、平面詳細図にはGWの図示がありません。 平面詳細図を正と見て宜しいでしょうか。仕上表を正とする場合はGW充填の範囲を図示にて御指示下さい。	宜しいです。
39	A-017-30・ 19-15・ 022-19	1F倉庫（多目的ルーム）の流し台が平面詳細図・展開図ではミキシングのような図示ですが、水廻り詳細図(19)ではシク(FX-28)と相違しています。平面詳細図・展開図を正としミキシング(FX-30)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

No	区分	質問	回答
40	A-008-3・017-11・026-3	1Fワークショップ スペース天井のアミゲートの下地について、天井伏図では $t=12$ の記載がありますが、仕上表・展開図ワークショップスペース詳細図には記載がありません。アミゲートは無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-026-3の通り、仕上げがALPL t 3カラマツ不燃突板シート貼り、下地はスチール下地となります。
41	A-017-11・026-2	1Fワークショップ スペースの流し廻り壁の合板の厚みは $t=12$ 、仕上はUC塗と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	$t=6$ UC仕上げとします。
42	A-026-2	1Fワークショップ スペース壁の合板の仕上はUC塗と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
43	A-021-4	1F連携交流室のOAフローの仕様を御指示下さい。	H=150 支柱調整式 500×500 0.6G 3000Nとします。
44	A-021-4	標準詳細図において1F連携交流室の鋼製床・OAフローが断熱材の上に施工となる図示ですが、他の部屋同様にコンクリート面に施工と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
45	A-017-10・017-12	1F控室①・連携交流室等の外壁側に下り壁がありますが、LGS65+PBt=12.5+12.5+壁仕上、塩ビ見切と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
46	A-008-3・015-5・017-12	仕上表で1F連携交流室に間接照明ボックスとありますが、天井伏図・展開図等に図示がありません。該当無しと考へて宜しいでしょうか。有りの場合は詳細を御指示下さい。	宜しいです。
47	A-008-3・015-5・017-13	1Fコミュニケーションルームの天井が仕上表ではGWマットと岩綿吸音板の2種類、天井伏図では8. 岩綿吸音板ですが天井高は直天、展開図ではGWマットのみ(直天)と相違しています。展開図を正と考へて宜しいでしょうか。岩綿吸音板を正とする場合は天井高を御指示下さい。またGWマットと岩綿吸音板を使い分ける場合はそれぞれの範囲を図示にて御指示下さい。	展開図を正とし、岩綿吸音板とします。 CH4000とします。
48	A-003-2・021-1～21	間仕切について以下の様に考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ●一般間仕切のLGS下地は$\phi 17$～$\phi 17$間に設置 ●外壁面/内壁・柱型のLGS・ボート下地は天井止め ●LGS下地のミッド巾は、設置する高さによる(様仕表14.5.1) 	宜しいです。
49	A-019-1～41・021-1～21	標準詳細図(1)～(21)の記載より、LGS下地にGWのような記載がありますが、GWの施工範囲は、平面詳細図の間仕切仕様にGWと記載がある場合と考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、GWを充填する場合の一般間仕切のボードは天井裏まで張上げるものとし、端部にアクリル系シリング 10*10を見込むと考へて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
50	A-019-1～41・021-1～21	上記質疑に関連し、標準詳細図(1)～(21)の壁仕上と、平面詳細図の間仕切仕様に相違がある場合、平面詳細図の間仕切仕様を正と考へて宜しいですか。御指示下さい。	宜しいです。

No	区分	質問	回答
51	A-015-1～ 20・089-1	天井 間接照明ボックスに於いて、天井伏図凡例と、雑詳細図_部分詳細図(1)の間接照明ボックス関係は以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ●A1…間接照明ボックス(メタリックオイル・諸室) ●A2…間接照明ボックス(メタリックラット) ●A3…間接照明ボックス(メタリックオイル・諸室) ●A4…間接照明ボックス(WC) ※奥行寸法の〇書き範囲は無しと考えます。 施工範囲がある場合は、詳細を御指示下さい。	宜しいです。
52	A-008-1	耐火被覆に於いて、外部仕上表 耐火構造より、柱型 耐火塗料との記載ですが、見隠れとなる範囲は、ラッカール吹付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
53	A-008-1・ 018-1他	耐火被覆に於いて、外部仕上表 耐火構造より、内部梁型 ラッカール吹付との記載ですが、矩計図の記載より、見掛かりとなる範囲は耐火塗料と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
54	A-008-1	耐火被覆に於いて、外部仕上表 耐火構造より、梁型 卷付耐火被覆とあります、該当範囲が不明です。必要となる範囲あれば御指示下さい。	該当箇所無しとしてください。
55	A-008-2	床仕上 表面強化材のひび割れ誘発目地の形状・目地詳細が不明です。御指示下さい。	5mピッチでカッター目地、30mピッチで膨張目地を見込んでください。 目地深さは舗装厚の50%以上とします。
56	A-019-15	1FX9通り・Y1A～2A間の間仕切に於いて、フレースを挟んで両側に耐火遮音間仕切の記載ですが、ポートの仕様が強化PBt=12.5+12.5となっています。片面耐火間仕切と思われます。強化PBt=21.0+21.0に読み替えると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです
57	A-008-2・ 021-1	B1F床タイルの下地に於いて、標準詳細図(1)/B1-01・B1-05より、いずれも文字には敷き詰めの記載がありますが、断面図ではB1-05図には敷き詰めの記載がありません。B1F EV1 BFホールとBF附室のタイル下地に敷き詰め=30は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
58	A-008-2・ 021-13	B1F EV1 BFホールの天井仕上に於いて、仕上表と標準詳細図(13)/B1-04の記載が相違します。化粧石膏ポートt=12.5が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
59	A-008-2・ 037-2	B1F EV1 BFホールの床面EXP・J金物に於いて、仕上が塗床とありますが、B1F EV1 BFホールの床は大判タイル仕上げとなります。タイル仕上に読み替えると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
60	A-008-2・ 019-2・ 017-3	B1F BF床降ローベー 壁仕上に於いて、ECP面の仕上は素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

No	区分	質問	回答
61	A-019-2・037-3	B1F BF乗降ロビーのEXP・J金物に於いて、平面詳細図と特別詳細図_免震エキスパンションジョイント(3)で設置位置が相違します。再度設置範囲を御指示下さい。	平面詳細図を正としてください。
62	A-008-2・019-2・037-2	B1F BF乗降ロビーの床仕上に於いて、床のEXP・J金物面はセメント床シートとあります。 長尺塗装シートAを使用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
63	A-019-17	安全柵の詳細が不明です。御指示下さい。	強化ガラス:t12 H900までとします。
64	A-019-14・089-2	床の吹出口Aに於いて、平面詳細図のアリーズAのことと思われますが、平面詳細図に記載の仕様と雑詳細図_部分詳細図(2)/床吹出口Aの仕様が相違します。 雑詳細図_部分詳細図(2)/床吹出口Aの仕様が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正としてください。
65	A-003-2・047-1	エスカレータービット内の仕上がり不明です。以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ●床…コンクリート金鑄+ケイ酸質系塗布防水C-U1 ●立上がり…コンクリート打放補修+ケイ酸質系塗布防水C-U1	宜しいです。
66	A-065	1Fメゾンテラス梁かべに於いて、縦材下地 L-30*30*3の仕様が不明です。御指示下さい。 また、縦材は横材口-30*30*3を挟み込んで2列配置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	縦材下地は@450mmとします。 また、縦材については2列配置でよろしいです。
67	A-065	1Fメゾンテラス梁かべに於いて、見掛けの鉄部仕上塗装の有無が不明です。御指示下さい。	耐火塗装します。
68	A-008-2・019-17・017-3	1F風除室の壁仕上に於いて、外部・メゾンテラス・お住い側の建具高さはH=4500とあります。天井高 直天となるので建具上部の壁仕上はPbt=12.5+12.5+AEP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
69	A-008-2・019-17・017-3	1F風除室の壁仕上に於いて、X11通りの柱型仕上がり不明です。1Fメゾンテラス・お住い側の柱型仕上に倣い、南北面 タイプt6+ケ突板練付UC・東西面 アルミ複合板 ジョー仕上げt=3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	耐火塗装します。
70	A-058-3・058-8・058-9・058-10	1Fメゾンテラス梁かべ・お住いメゾンテラス梁(SLW6)の天井裏レール補強下地の有無・詳細が不明です。御指示下さい。	構形鋼-150x75x6.5x10とします。

No	区分	質問	回答
71	(A-058-3、 058-8、 058-9、 058-10)	1Fメティアガオイド・ホイエ スライシングウォール(SLW7)の天井裏レール補強下地に於いて、特別詳細図_スライシングウォール(10)に記載がありますが、金物の形状・寸法が不明です。御指示下さい。	H-194x150x6x9 支柱ピッチ@1500とします。
72	A-008-2、 015-6、 015-8、 054-2	1Fメティアガオイド・ホイエの電動ロースクリーンボックスの仕様が不明です。スチールt=1.6加工 SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
73	A-008-2、 015-6、 015-8、 054-2	1Fメティアガオイド・ホイエの電動ロースクリーンの仕様が不明です。御指示下さい。 また、ガットレールの下地が建築とありますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	ガラス繊維+PVCとします。 ガイドレール下地はスチールサッシ方立FB-75x125鈑止め塗装とします。(A-035-1参照ください。)
74	A-016-1～ 32	建具表(1)～(12)は外部建具、建具表(13)～(32)は内部建具と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
75	(A-016-2、 016-6)	外部1Fキーフランの風除室出入口に建具符号が図示ありません。建具表よりSSD-102と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
76	A-016-15、 016-26	内部2Fキーフランの総務学芸執務室のY2A通に、FIX窓の建具符号が図示ありません。建具表よりSW-201と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
77	A-016-4、 016-5、 016-9、 016-12	外部建具／SW-304、SSD-303、SD-404の数量が空欄です。キーフランより各々1か所ずつと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
78	A-016-13、 016-15、 016-18、 016-29	内部建具／SSD-B02、SW-301、GD-301、SW-303、SSD-302の数量が空欄です。キーフランより各々1か所ずつと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
79	A-016-13、 016-18	内部建具／FSD-B06の数量が、建具表：2か所、キーフラン：1か所と異なります。キーフラン：1か所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
80	A-016-13、 016-30	内部建具／SD-B03の数量が、建具表：1か所、キーフラン：0か所と異なります。キーフラン：0か所を正と判断し、SD-B03は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示キーフランを正としてください。なお、数量書についてはSD-B03が含まれているため、現場にて減項目とします。	宜しいです。

No	区分	質問	回答
81	A-016-13、 016-30	内部建具／SD-B06の数量が、建具表：1か所、キーブラン：0か所と異なります。キーブラン：0か所を正と判断し、SD-B06は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	キーブランを正としてください。なお、数量書についてはSD-B06が含まれているため、現場にて減項目とします。
82	A-016-10	外部建具／SD-109は姿図の表現より、縦格子戸と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
83	A-016-18、 016-20、 016-24、 016-25、 016-28、 016-29、 016-031、 016-32	内部建具／型式欄に常開と記載のある建具は、煙感知器連動の防火戸と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。展示室及びメディアスリット周りは手動でも締められる仕様とします。
84	A-016-21、 016-25、 016-28、 016-31、 016-32	内部建具／LSDの片引き戸は、ハサード戸と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
85	A-016-27	内部建具／FSS-203・204の障子(シャッタースラット)はガラス戸と記載ありますが、シートシャッターの事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

